

富士見の景観

まつぼつくりのおみやげ

富士見ヶ丘に、白林荘がある。故犬養毅（犬養木堂）氏ゆかりの木々も多く、管理する人たちの手で大きく育っている。敷地の南西側を通る道路に近い場所に、大きな「チョウセンゴヨウ」が6本立っている。それぞれの日通りは、152cm〜190cmで、高さは25mくらいある。

チョウセンゴヨウは、富士見を愛した木堂が、大正時代の終わりころ、朝鮮総督府から種を送つてもらい、庭先に試植したものである。富士見の気候を知り、これからの日本の木材産業を見越していたからこそ、この地を選んで育てたのだろう。

木の下には、大きな緑色の球果がいくつも転がっていた。手のひらほどの大きさで、ごつごつと尖っている。そつと持ったのに、種鱗（しゅりん）の先に白くついているヤニが、べたついて、なかなかとれない。しかし、その厄介なことになった手からは、森林の清々しい香りがしていた。

【樹木選定・評価 加々見一郎氏】



チョウセンゴヨウの球果



チョウセンゴヨウの松の実は丸く1cmはある



富士見町役場 建設課 都市計画管理係

026-229216

チョウセンゴヨウ【Pinus kouraiensis、和名:朝鮮五葉、中国名:紅松(ホンソン)】マツ科マツ属。東北アジア地域原産。名前の通り五葉松の一種で、葉は5枚ずつ束生しています。朝鮮半島、中国東北部、ロシア極東部と日本に天然分布しています。寒冷地では、庭木・公園樹・緑化樹としてうえられていて、材は、白色で光沢があるので、建築材・建具・欄間・仏壇の彫刻などに使われています。種子の中の海松子(かいしょうし)は、滋養強壮効果があり、ピーナツなどと同じように生で食べることができます。リスも好んで食べます。また、松の香には、消毒やデオドラント効果があり、心の疲労回復としてのアロマ効果もあるので、多くの方に使われています。

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html> の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

◆町の人口と世帯数 平成24年10月1日現在(前月比)

住民基本台帳人口 男性/7,531人(+3) 女性/7,830人(-14) 合計/15,361人(-11) 世帯/5,784世帯(-3)

◆発行日 平成24年11月1日

◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481

◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター
TEL 0120-890-422

2012.11 ◆広報ふじみ

22

●この広報は再生紙を使用しています。